

**製品名: Toll 様受容体 3 (2F10) マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM03550**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 104 kDa; Observed MW: Refer to figures

**抗原情報**

遺伝子名	TLR3
別名	CD283; CD283 antigen; IIAE2; TLR 3; Tlr3; TLR3_HUMAN; Toll Like Receptor 3; Toll-like receptor 3.
遺伝子 ID	7098
SwissProt ID	O15455
免疫原	-

**背景**

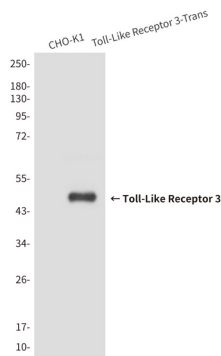
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、病原体認識と自然免疫の活性化において重要な役割を果たす Toll 様受容体 (TLR)

ファミリーのメンバーです。TLRはショウジョウバエからヒトに至るまで高度に保存されており、構造的および機能的な類似性を共有しています。TLRは感染性因子上に発現する病原体関連分子パターン（PAMP）を認識し、効果的な免疫の発達に必要なサイトカインの産生を媒介します。TLRはそれぞれ異なる発現パターンを示します。この受容体は胎盤と脾臓に最も多く発現しており、白血球の樹状細胞サブpopulationに限定されています。ウイルス感染に関連するdsRNAを認識し、NF-κBの活性化とI型インターフェロンの産生を誘導します。したがって、ウイルスに対する宿主防御において役割を果たしている可能性があります。この遺伝子では、異なる長さの転写産物を生成するために、代替的なポリアデニル化部位を利用することが知られています。

## 研究分野

免疫学

## 画像データ



CHO-K1 溶解物中の Toll 様受容体 7 と、Toll 様受容体 3 溶解物によってトランスフェクトされた CHO-K1 の、Toll 様受容体 3 抗体を使用したウエスタンブロット分析。